

県産品の振興に関するアンケート調査結果

地域産業課

1 調査目的

県産品販売・情報発信拠点「THE GIFTS SHOP^{ザ ギフツ ショップ}」に対する県民の皆さんの意識を把握し、今後の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象等

調査対象: 県政モニター485人(うちインターネットモニター278人)

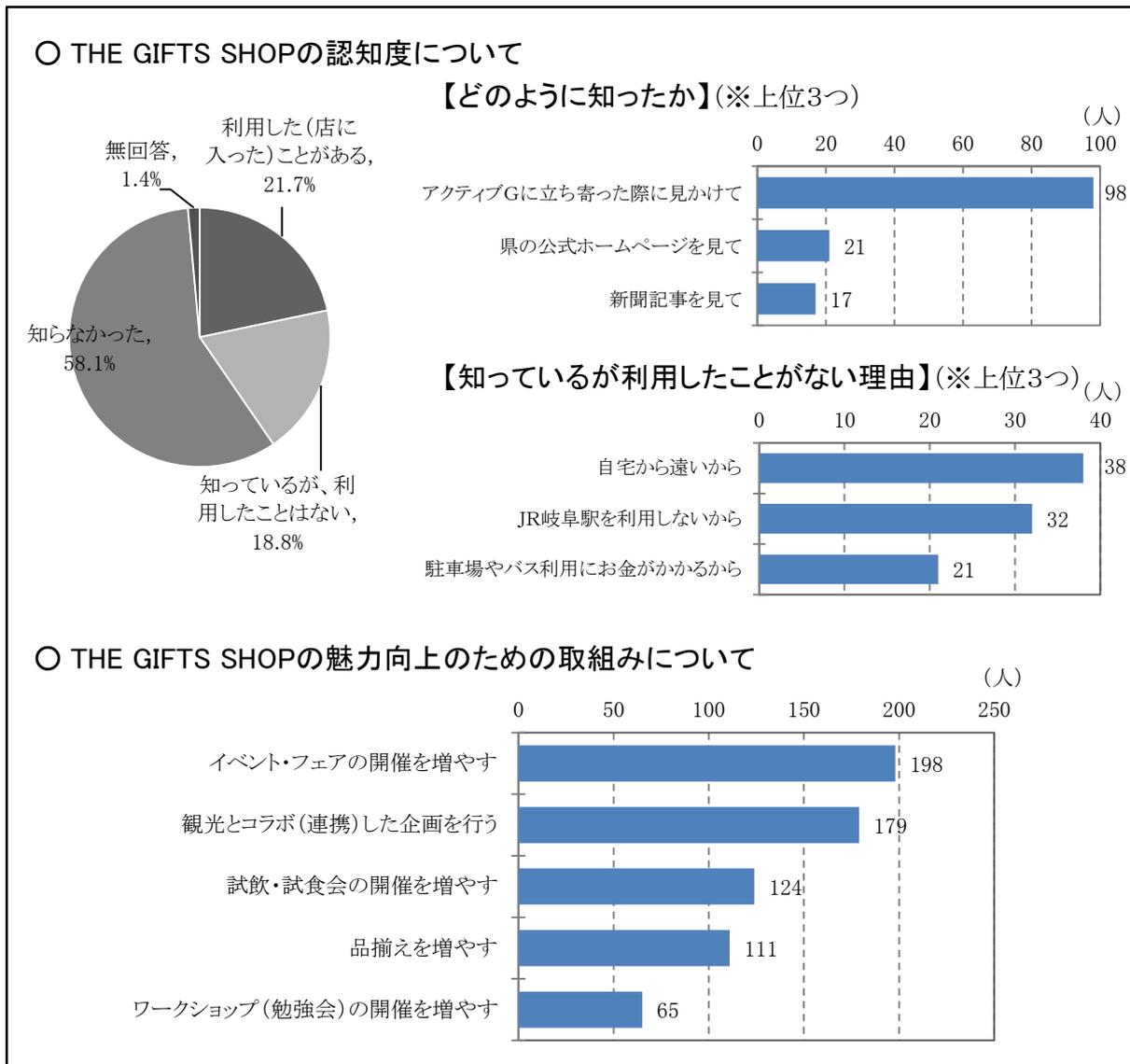
調査方法: 郵送及びインターネット

調査期間: 令和元年12月25日～令和2年1月17日

回収結果: 346人(回収率71.3%)

構成比はパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

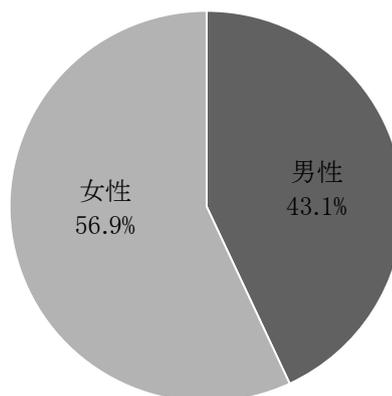
3 結果概要



4 回答者属性

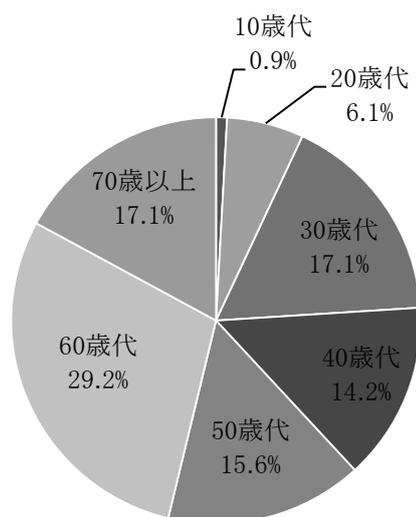
(1) 性別

	人数	割合
男性	149	43.1%
女性	197	56.9%
無回答	0	0.0%
計	346	100.0%



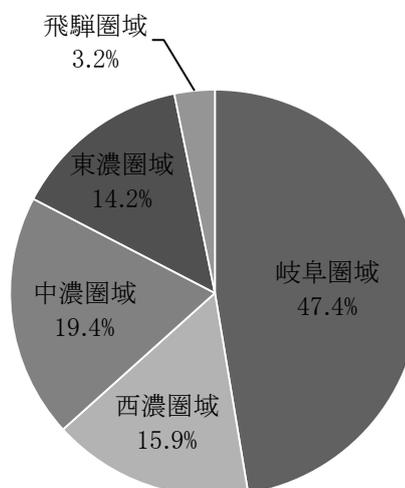
(2) 年代別

	人数	割合
10歳代	3	0.9%
20歳代	21	6.1%
30歳代	59	17.1%
40歳代	49	14.2%
50歳代	54	15.6%
60歳代	101	29.2%
70歳以上	59	17.1%
無回答	0	0.0%
計	346	100.0%



(3) 居住圏域別

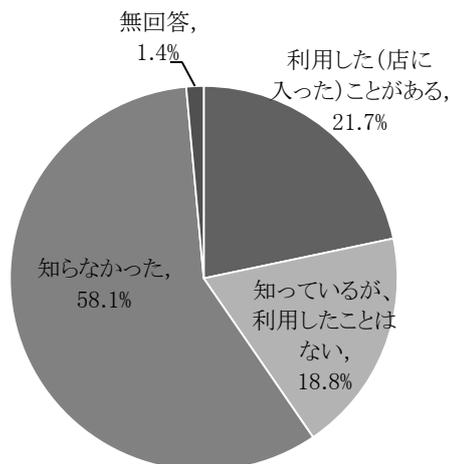
	人数	割合
岐阜圏域	164	47.4%
西濃圏域	55	15.9%
中濃圏域	67	19.4%
東濃圏域	49	14.2%
飛騨圏域	11	3.2%
無回答	0	0.0%
計	346	100.0%



5 調査結果

問1 あなたは、THE GIFTS SHOPを知っていますか。また、利用した(店に入った)ことはありますか。

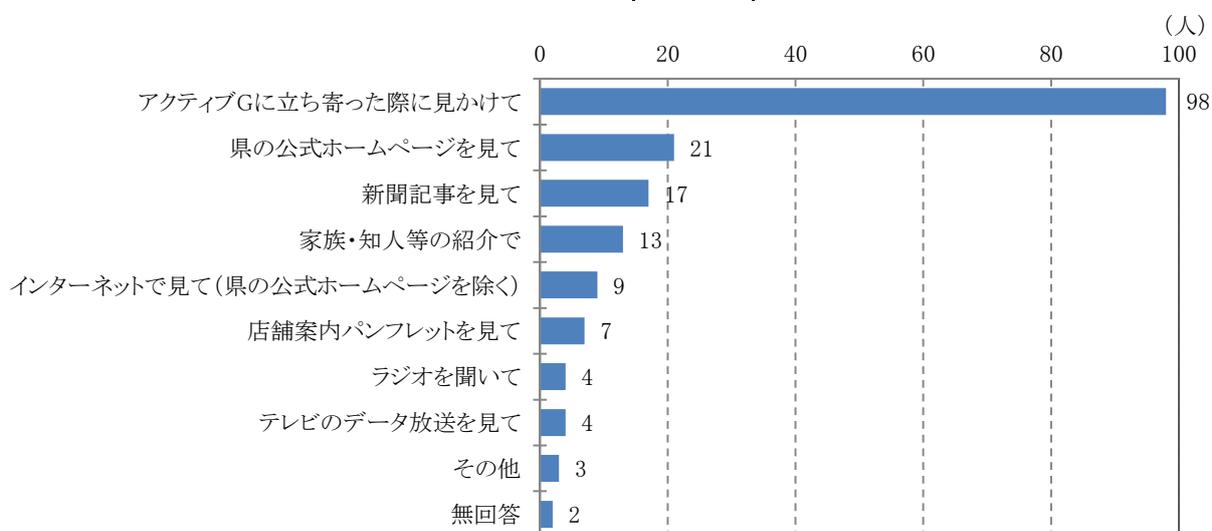
	人数	割合
利用した(店に入った)ことがある	75	21.7%
知っているが、利用したことはない	65	18.8%
知らなかった	201	58.1%
無回答	5	1.4%
計	346	100.0%



問2 (問1で「利用した(店に入った)ことがある」「知っているが、利用したことはない」と答えた方)あなたは、どのようにTHE GIFTS SHOPを知りましたか。

(複数回答) 回答者 140 人

	回答数	割合
アクティブGに立ち寄った際に見かけて	98	70.0%
県の公式ホームページを見て	21	15.0%
新聞記事を見て	17	12.1%
家族・知人等の紹介で	13	9.3%
インターネットで見て(県の公式ホームページを除く)	9	6.4%
店舗案内パンフレットを見て	7	5.0%
ラジオを聞いて	4	2.9%
テレビのデータ放送を見て	4	2.9%
その他	3	2.1%
無回答	2	1.4%
計	178	-



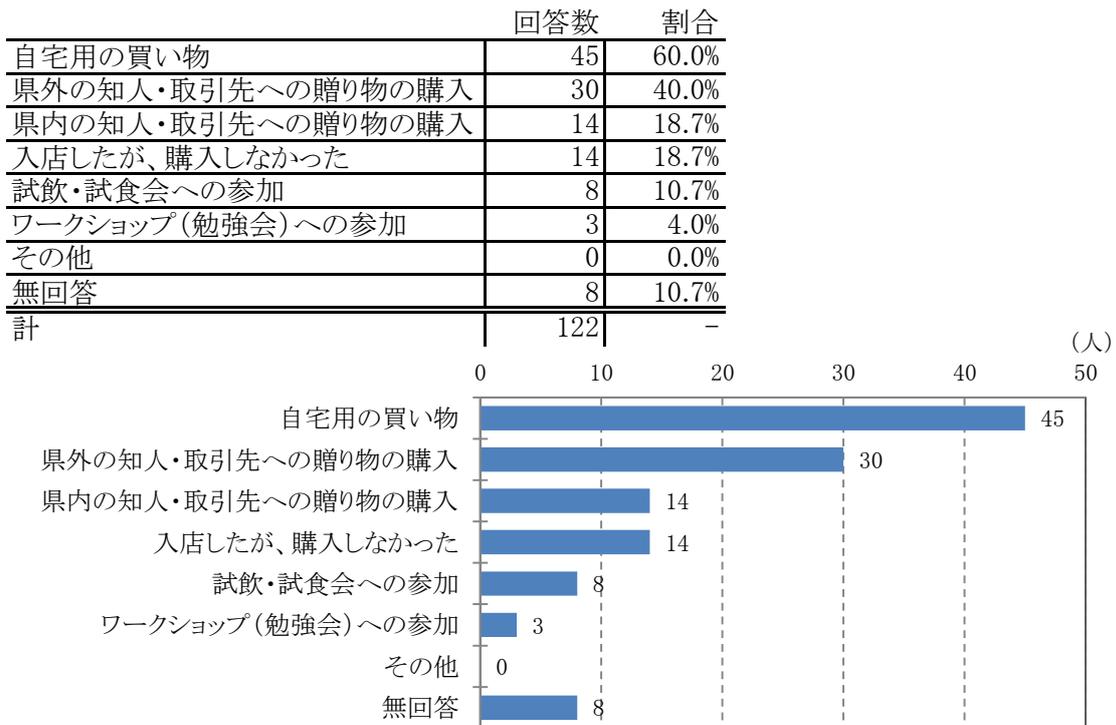
「その他」のうち主なもの

- ・ モニターアンケートのチラシで

問3 (問1で「利用した(店に入った)ことがある」と答えた方)

あなたは、THE GIFTS SHOPをどのように利用しましたか。

(複数回答) 回答者 75 人



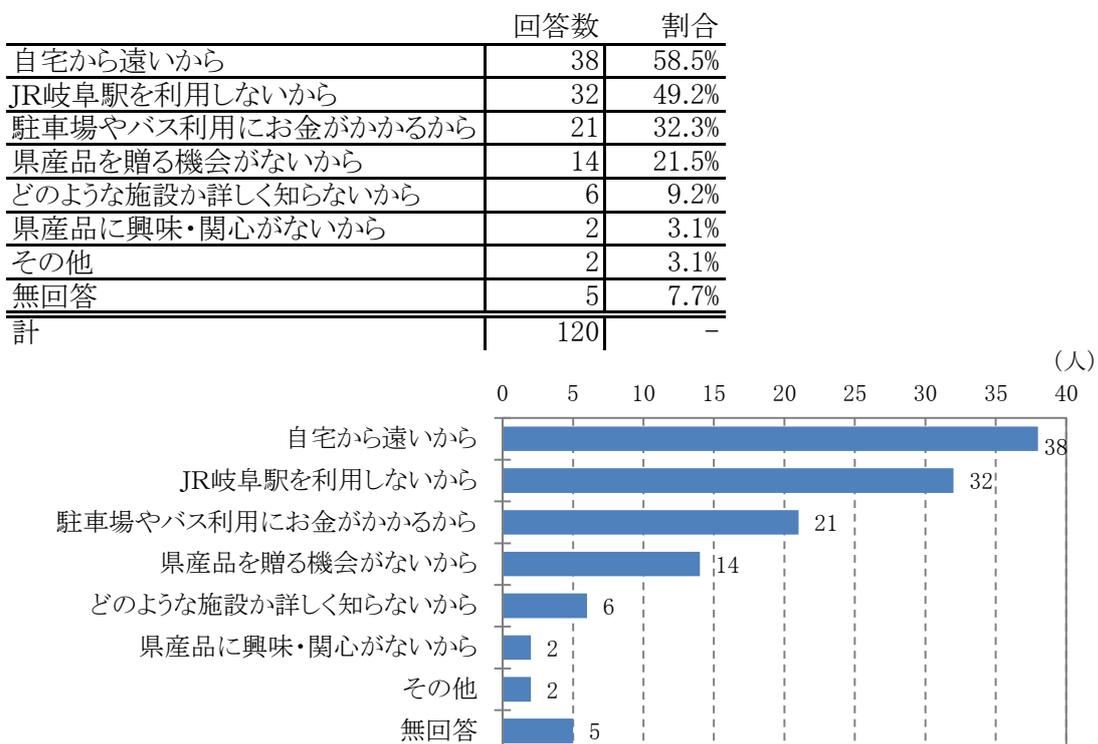
「入店したが、購入しなかった」理由のうち主なもの

- ・ その時点で特に購入したいものがなかったから。
- ・ 良いモノは高かった。
- ・ 和紅茶を買おうと思ったが、他店よりも高かった。
- ・ どこでも売っているから。限定品があれば購入したかも。

問4 (問1で「知っているが、利用したことはない」と答えた方)

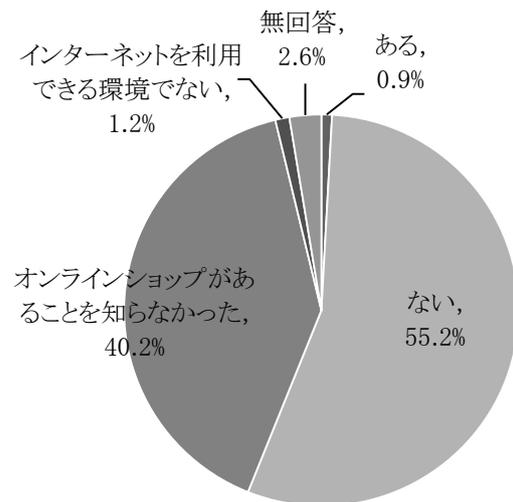
THE GIFTS SHOPを知っているが、利用したことがない理由は何ですか。

(複数回答) 回答者 65 人



問5 あなたは、THE GIFTS SHOPのオンラインショップを利用したことがありますか。

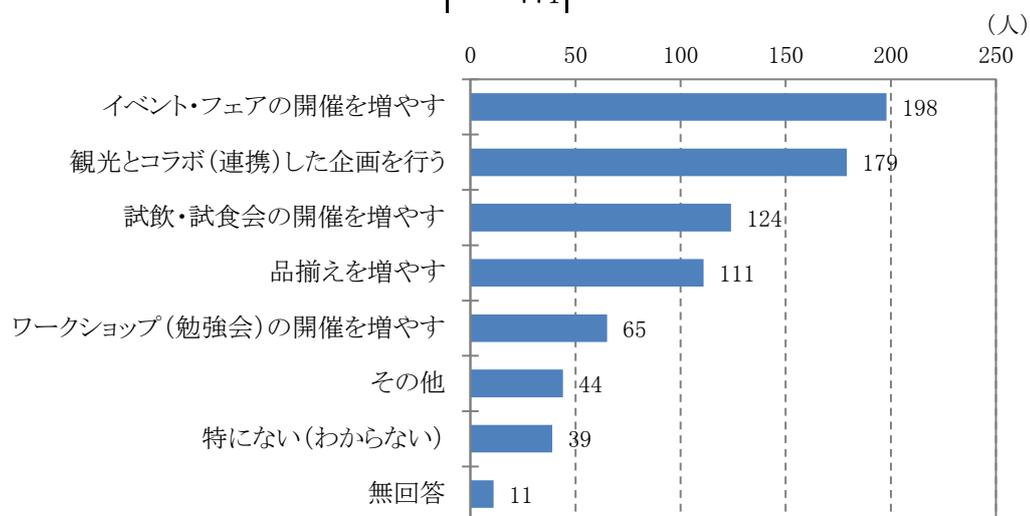
	人数	割合
ある	3	0.9%
ない	191	55.2%
オンラインショップがあることを知らなかった	139	40.2%
インターネットを利用できる環境でない	4	1.2%
無回答	9	2.6%
計	346	100.0%



問6 あなたは、THE GIFTS SHOPの魅力を上昇させるために、県はどのような取組みを進めていくべきだと思いますか。

(複数回答) 回答者 346 人

	回答数	割合
イベント・フェアの開催を増やす	198	57.2%
観光とコラボ(連携)した企画を行う	179	51.7%
試飲・試食会の開催を増やす	124	35.8%
品揃えを増やす	111	32.1%
ワークショップ(勉強会)の開催を増やす	65	18.8%
その他	44	12.7%
特にない(わからない)	39	11.3%
無回答	11	3.2%
計	771	-



「その他」のうち主なもの

- ・ 岐阜駅からアクティブGへの流入をもっと容易にするための方策を行う。
- ・ マスコミに取り上げてもらえるような企画づくり
- ・ 地域の情報誌にワークショップや試飲会、バーゲン案内等の情報を載せたらどうか。
- ・ 購入しやすい価格帯で岐阜県らしさがわかりやすい商品の品ぞろえを。
(独自性が感じられる商品が少ないのではないか)
- ・ 岐阜市以外の地方にも、もっと広報されるといいと思う。

問7 その他、県産品の振興に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。
(主な意見)

○THE GIFTS SHOPについて

- ・サイトにせっかくのよい商品が並べられていても、それがどうして県産品なのか魅力が伝わらない。どの地域で作られていてどんな店のものなのか、いつからあるのかくらいは明確に表記してほしい。もつと作り手と岐阜のよさが盛り込まれて簡潔に説明されたものになるといいと思う。
- ・とても魅力的なので、支店をもつと展開して欲しい。
- ・お酒が好きなので、お酒や肴になるような食品をよく購入するが、(食品以外も含め)ワンパターンな印象があるので、季節ごとに新しい商品を投入するとか、隠れた名産品やショップ限定品を置くなどすると、行く楽しみが増えると思う。
- ・岐阜県の宝物がほとんど揃うので、個人的にはとても好きなお店。ワークショップや試飲会を通して生産者の方々と触れ合うこともできるが、そういう情報が、お店に行ったときや、自分で積極的にイベント探しをしないと中々目に入ってこないのが残念。もう少し情報誌等で教えて頂けると嬉しい。
- ・県内各市の観光協会等と連携してイベントも開催されているが、例えば、各店の栗きんとんの詰め合わせや鮎菓子・詰合せ、飛騨林檎のアップルパイ、期間限定で提供されている人気商品も発売して頂けると嬉しい。
- ・ターゲットが県外の人であれば、今のような品揃えが妥当だと思うが、岐阜県にはほとんど新しい挑戦で産品が生まれている。そういった物を掘り起こしていく作業が大事だと思う。

○その他

- ・駅だけではなく、多くの人が集まる所(大型ショッピングセンター、お祭りやイベント等)で、出店や広報活動をするのが大切であると思う。
- ・「おんぱく」のような企画を立てて「イベントに参加しながら県産品に親しむ」流れが出来ると良いと思う。
- ・昨今、田舎体験が流行っているので全国に向かって「田植え」「稲刈り」「紙漉き」「合掌造りの屋根の葺き替え」などを募集して人出不足解消と合わせて県産品のPRを試みたらどうか。
- ・県内産の物をもつと身近に買えるようにしたら良い。欲しくても中々売っているところが少ない。
- ・インターネットを利用し、買いやすい環境を作る。
- ・県産品に興味もあるし購入したいと思っても中身を十分知り得ていない。宣伝媒体を駆使してもつと広報活動が必要かも知れない。
- ・ふるさと納税の品を魅力的にする。
- ・県外の人には興味深いものがたくさんある。ネットでもテレビでも本でも、作っている過程を見ることができるとほしくなるのではないかな。
- ・岐阜の家具は素晴らしいが、岐阜に住んでいても知らない方も多い。知っていても高くて手が届かないので、助成などあればいいと思う。
- ・ものもいいのはわかっている。売る人間の営業努力を感じられない。プレゼンテーションが下手。
- ・木のおもちゃをもつと推してはどうか。
- ・県産品で県外の方への手土産になる物が少ないのではないかな。地元の和菓子店等の協力を得て、気軽に持参できる品物(和菓子・洋菓子)、特に高齢化社会に対応した柔らかいお菓子の開発が必要ではないかな。
- ・素敵なものが手頃な値段だと手土産にしやすい。
- ・小学生のうちから学校で教えるといいのではないかな。
- ・リーダーが必要。